

秋の日本の平均気温と日本近海の平均海面水温の 記録的な高温について

～平均気温は3季節連続、平均海面水温は2季節連続で記録更新～

日本の平均気温及び日本近海の平均海面水温は高温の状態が続いており、2023年の秋（9～11月）はいずれも、この季節として過去の記録を大きく上回る第1位の高温となりました。

2023年（令和5年）秋（9～11月）の日本の平均気温偏差（※1）は+1.39℃となり、秋の気温としては統計を開始した1898年以降で最も高かった2022年（+0.90℃）を大きく上回り、第1位の記録となりました。

また、日本近海の9～11月の平均海面水温の平年差（※2）は+1.2℃となり、統計を開始した1982年以降で最も高かった1999年と1998年の+0.7℃を大きく上回り、第1位の記録となりました。

これにより、日本の平均気温はこの春から3季節連続、日本近海の平均海面水温は夏に続き2季節連続で高温の記録を更新したことになります（参考リンク）。

秋の日本の平均気温が高くなったことは、日本の北から寒気が南下しにくく、暖かい空気に覆われやすかったことが主な要因と考えられます。日本近海の平均海面水温が高かったことについては、暖かい空気に覆われやすかったことのほか、黒潮続流が三陸沖まで北上した状態が続き、海洋内部まで水温が高いため海面水温が下がりにくかったことも主な要因として考えられます。

また、地球温暖化の進行に伴い、このような記録的な高温が発生しやすくなっています。

気象庁では、大気、海洋の観測、解析を続けていくとともに、気候変動対策の基盤となる科学的知見を提供してまいります。

※1 平均気温偏差：観測データの均質性が長期間確保でき、かつ都市化等による環境の変化が比較的小さい15地点について、それぞれ気温の30年（1991年～2020年）の平均値からの差を求め、それらを全地点で平均した値。

※2 平年差は平年値との差をいい、平年値は1991～2020年の30年平均値である。

<問合せ先>

日本の平均気温について

大気海洋部気候情報課 平井

電話 03-6758-3900（内線 4542）

日本近海の平均海面水温について

大気海洋部環境・海洋気象課海洋気象情報室 吉田

電話 03-6758-3900（内線 4785）

(参考リンク)

- ① (令和5年6月1日報道発表) 春の日本の平均気温と日本近海の平均海面水温の記録的な高温について～統計開始以降最も高い平均気温～
https://www.jma.go.jp/jma/press/2306/01c/temp_MAM.html



- ② (令和5年8月28日報道発表) 令和5年梅雨期の大雨事例と7月後半以降の顕著な高温の特徴と要因について～異常気象分析検討会の分析結果の概要～
<https://www.jma.go.jp/jma/press/2308/28a/kentoukai20230828.html>



- ③ 日本の秋(9～11月)平均気温偏差の経年変化
https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/aut_jpn.html



- ④ 海面水温・海流1か月予報
<https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/data/db/kaiyo/ocean/forecast/month.html>

